

平成27年度各会計決算 に対する各会派等の

意見表明（要旨）

自民党豊島区議団

平成27年度一般会計並びに3特別会計歳入歳出決算の認定に賛成する。歳入・歳出とも過去最大の規模となった一般会計決算は、様々な区民需要に可能な限り積極的に応えた素晴らしい決算であったと評価する。

款別に意見を述べる。総務費では、セーフコミュニティについては、来年の再認証に向けた万全な準備を。ワークライフバランス推進企業認定制度の周知とともに、働き方の意識改革を。福祉費では、各事業における切れ目のない子育て支援策を。都市整備費では、国の重要文化財に指定された鬼子母神周辺の無電柱化の実現を。文化商工費では、障害者スポーツの発展・振興のため、体育施設のバリアフリー化を。新ホールについては、区民利用時には十分な配慮を。教育費では、新築校だけではなく、既存校でも積極的な学校設備の更新を。小学校移動教室は、栃木県日光での実現を望む。

歳入について、狭小住戸集合住宅税は、今後の本区の住宅事情を展望した見直しを。特別会計について、介護保険事業会計では、自宅介護が必要な方への施策の充実と制度の周知を望む。今後の財政運営に当たっては、盤石な財政基盤の構築努力を継続し、効果的な財源投入の一層の努力を切に要望する。

公明党

平成27年度一般会計決算及び3特別会計決算の認定に賛成する。総括として、消滅可能性都市から持続発展都市への転換を図った事業展開を評価する。

【款別の主な意見と提案】

総務費

池袋消防団分団倉庫の拡充。感震ブレーカー助成実施。エリアWi-Fiの区内全域での整備。福祉・衛生費

待機児童ゼロへ引き続きの取組。児童相談所移管の早期実現。胃がんリスク検診の対象年齢の拡大。健康診断に内視鏡検診の導入。妊婦や歯周疾患の検診受診率の向上。

環境清掃・都市整備費

公園や区道の清掃や整備に献身的に活動しているボランティアへの支援強化。衛生と環境部門等が連携しての食品ロス削減の取組の推進。新たな居住支援制度の創設。国の結婚新生活支援事業の活用。

文化商工・教育費

体育施設の利用料値下げと時間延長。いじめ、自殺予防のためにもメディアリテラシーの充実。国民健康保険事業会計

レセプト分析、データヘルスを活用して医療費の抑制努力を要望する。最後に平成29年度より新公会計制度の実施で、一層安定した財政運営に結びつくよう期待する。

日本共産党

15年度一般会計並びに3特別会計決算の認定に反対する。

第一に深刻な区民生活を支えるものになっていない。認可保育園の増設は待機児童の解消には不十分。二カ所の特養ホームを新設したが、待機者は増え63名になったのにさらなる増設計画はない。公営住宅等の建設は拒否。就学援助など子育ての負担軽減が不十分。建築物耐震化助成事業の執行率が10%と低い。地域活動支援センターへの補助は拡充せず。商店街のシャッター通り化や公衆浴場の激減への効果的な対策もない。

第二に住み続けられる街づくりになっていない。旧庁舎跡地等の大型開発は区民のためではなく、来街者集客のため。道路建設の強行は、住民追い出しになる。公衆トイレの老朽化、汚れ等がひどく維持管理が不十分。第三に区民の生活を守る財政運営になっていない。過去最大規模の決算というが、区民の生活はよくなっていない。やるべきことをやらずにためた財政調整基金の残高が25億円。さらに多額の基金も大型開発につぎ込もうとしている。

保険料等大幅な区民の負担増を進めた国民健康保険会計、後期高齢者医療会計、サービスを削減する総合事業をすすめた介護保険会計も認められない。

民主ネット

平成27年度一般会計、3特別会計の認定に賛成する。新庁舎開設という転換期の大型決算であり、旧庁舎跡地の76年間の定期借地権による191億円は、区民の大切な財産である。基金の安全で有利な運用を望む。税制度が区の財政を圧迫、国に積極的に具申すべき。事業別では、平和、人権に関する企画開催を。民間業者へのパトロール委託効果を検証すべき。新庁舎は常に使いやすく効率的な運営を。病後児保育事業を使いやすい制度に。ひとり親家庭に必要な情報が届くよう努力を。子どもスキップのスタッフの研修の充実を。増加する予防接種への対応を丁寧な。羽田空港増便計画による上空低空飛行ルート案は区民の安全を守るためにも国に対して丁寧な説明を。放射性物質対策、土壌汚染対策を十分に。地球温暖化阻止をするためにも緑を増やし、資源循環を進め、石けんの使用等環境都市豊島をリードすべき。住宅修繕リフォーム助成事業を利用しやすい制度へ。目白古道、旧高田小学校跡地の整備計画の推進を。国際アート・カルチャー都市構想を全庁をあげて実現を。いじめの背景にある子どもたちの状況に丁寧に対応すべき。今後も、きめ細かい歳入の確保と増分主義会計でバランスある財政運営を望む。

社民党

社民党石川大我は、「人権や平和、弱い立場にある人の視点を大切にする区政を」に重きを置き審査し、2015年度一般会計、3特別会計歳入歳出決算の認定に賛成。以下を要望する。議会傍聴席におけるバリアフリー化については、新導入システムの周知について工夫を。

「禁煙レストランとしま」の取組は巣鴨など他地区へも拡大し、商店街等へ協力要請を。地蔵通り無電柱化は街路樹を植える等で木陰の創出を。舗装の工夫等で都電駅方向への回遊性を高める施策を。高岩寺裏トイレは臭いを改善できる塗装を。学校で復活実施した色覚検査は差別や偏見があった経緯を教員が理解し、プライバシーへの配慮を。当事者児童・生徒の将来、未来を拓くような指導を。

新ホール整備事業は、区民優先席で区民が優先的に公演を鑑賞できる仕組み作りに努力を。区内宿泊施設が違法に同性同士のダブルルーム利用を拒否した事案は、「旅館業法違反0」を目指し業者に指導、助言等を。同性カップルが区営住宅に入居できない問題は条例改正で実現可能との答弁。改正するべき。区長は「同性カップルは家族」と明言。豊島区における「家族」の定義には同性カップルも含まれる。関係各所は改めて配慮を。